

木下綾華



【経歴】

- 2006年 長崎大学付属病院 初期研修医
初めて研修した科が2外科の肝臓班。右も左もわからぬまま、初めて見たものを親と思い2外科入局を決意。(学生時代から外科系と決めていました。)他科研修で(特に内科で)へこんだ時も、病院内ですれ違う2外科の先生方の声掛け・明るさに助けられる日々。
- 2007年 国立病院機構 嬉野医療センター 初期研修医
研修医の数が多くない病院を選んで研修。科に関わらず、病院全体で育ててくれる感じで、他科研修中も処置や手術のある時は呼んでもらって勉強させてもらいました。循環器内科、小児科、心臓血管外科、外科を研修。
- 2008年 移植・消化器外科入局。
念願の外科医に。同期も多く、楽しくあっという間の1年間でした。
- 2009年 長崎県島原病院 外科
とにかく手術の多い病院で、嵐のような日々。自分が主治医として、患者さん・家族へ説明し治療をすることの責任を痛感。至らない所だらけながら頑張れたのは、後ろにどーんと構えていてくれた先輩方のおかげです。
- 2010年 長崎労災病院 外科
やはり手術の多い病院で、やり方の違い(開腹⇔鏡視下など)に戸惑うことも多々。この時期に、性格の異なる2か所の病院で研修できたのはとても良かったと思います。

【メッセージ】

外科では「自分の手によって治療する」という医者の醍醐味が味わえると思います。しかし、手術だけが外科医の仕事ではありません。手術まで必要な管理をし、手術というヤマを越えて患者さんを帰す、メリハリのあるところが私は好きです。
結婚・出産への不安が無いわけではありませんが、どうなるかわからない将来に悩むより、現在やりたいことを精一杯やりたいと思います。